

岡山 裕 研究会 (アメリカ合衆国の政治) 募集要項 (2次)

当研究会では、2019年度の受講生を以下の要領で追加募集します(最大で10名程度)。希望者は、よく読んで応募するようにしてください。

本研究会のねらい

この研究会では、アメリカ合衆国の政治の研究を通じて、受講者の皆さんが慕道立って考え、口頭で、また文章を通じてきちんと議論できるようになること、そしてそれを楽しめるようになることを目指しています。そのため、単にアメリカについて色々読んで勉強する、というのではなく、研究の方法論にも関心を払い、また早い段階から各自で独自のテーマを設定して学術的な研究を進めてもらうことにしています。課題文献の講読もしますが、研究会内や他大学との合同ゼミを通じた成果発表や、その予行演習といった形で議論することの方が多くなります。ですから、研究会の充実には、各自が個別に取り組む意欲と程度に大きく左右されます。どの研究会もそうだと思いますが、徹底的に先行研究や資料を探して読み、独自の議論とその検証方法を試行錯誤して考えるといった自主性や根拠強さが要求されますし、そのために相当の時間を割くことも必要になります。サークル活動等と両立することは十分可能ですが、計画的に、きちんと切り替えて時間を使う必要があると思っています。

研究は、進めている間は楽しいよりも苦しいことの方が多いですが、前に進んだときの達成感は格別です。またやればやっただけ(当事者が意識できるかはともかく)知的能力・スキルが身につけていきますし、それによってさらに議論が楽しめるようになります。担当教員としては、努力する人への助力は惜しまないつもりです。情熱を持って、楽しく・苦しく、また仲良く切磋琢磨していける皆さんの応募をお待ちしています。

応募に際して留意すべき点

・担当者の岡山は、2020年度に在外研究に出ることが決まっています。そのため、この年度(4年次)には毎週の授業は開講されません。ただし、卒業論文の指導は(遠隔で)行い、また単位も通常通り取得可能です。また岡山が日本にいる間に論文を執筆して、エキストラの単位を取得することもできます。詳しくは個別にメールでお問い合わせください。

・上のような事情から、2019年度は春・秋両方の学期に参加できる方を優先的に受け入れます(つまり、2019年度夏から留学に出られるといった場合は、優先順位が下がります)。これは、卒業論文の執筆に向けて必要な知的トレーニングを施すためです。

・当研究会は、水曜日の4・5限に2学年合同で授業を行います。延長することもあるので、水曜4限以降に定期的な予定を入れないことが、入会の条件になります。

・当研究会では、法学部政治学科の学生と同様の条件で活動できる場合、他学部・他学科の学生の応募を受けつけます。なお、複数の研究会をかけもちすることは坊げませんが、受講者はある程度以上の時間を予習や研究のために使う心づもりがあるという前提でカリキュラムが組み立てられていますから、負担は軽くないと考えてください。

統一選考についての注意事項

2019年3月2日(土)に予定されている統一選考では、担当教員との個別面接および事前課題(次ページ参照)に基づいたグループ討論を予定しています。時間・場所は改めて連絡しますが、必ず以下を持参するようにしてください。

- ・課題文献および自分の応募書類を印刷したもの(必要に応じて参照できるように)
- ・最新の成績表(コピーでかまいません。選考の参考にします)
- ・学生証(本人確認のため)

応募書類について

・全ての文書は、A4サイズ・横書きで作成してください。なお、記述は全て日本語で行ってください。

1ページ目 <自己紹介・志望動機>

最初に氏名、所属学部・学科、学籍番号、電子メールアドレス、統一選考日当日連絡の取れる電話番号を記載すること。ページの枚りを使って、自己紹介と志望動機を記すこと。後者には、入会が認められたらどんな研究をしたいかについての記述を盛り込んでください。また、留学予定者は必ずその旨を記載してください。